

3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境(山、川、海)に恵まれた施設の立地条件を最大限に活かして多様な事業を展開している。 ○スポーツ合宿や遠足用のチラシを作成し、県外の関係機関にも送付するなど、幅広く情報発信している。 ○各市町村教育委員会への訪問や校長会に出席し、情報提供や学校との連携に努めている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修へ積極的に参加するとともに、全職員で主催事業の企画・立案をすることにより、職員の能力の向上につなげている。 ○利用者アンケートや活動中の情報収集により利用者ニーズの把握をし、所内で課題やニーズを共有することで、早期改善に努めている。 ○定員を超えた行事について、代替行事を設定するなど、抽選で外れた子どもたちのために対応した。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幡多青少年の家と一般財団法人大方青少年育成会の全職員が日頃から情報共有に努めており、主催事業の実施内容の検討をはじめ、当日の受入対応、事業実施後の振り返りに至るまで協働した取り組みを行っている。 ○施設各部署の管理責任者のもと、定期的な安全点検を実施し、施設環境の整備を迅速に行っている。 ○職員が修繕作業にも取り組み、修繕費の節約に努めた。
④利用実績	<p>○平成24年度と比較して、宿泊者数は192名の減少、利用団体数は18団体の減少、利用者数は2,783名減少している。</p>
⑤収支の状況	<p>○宿泊者数が減少したことにより、平成24年度と比較して、使用料収入は56千円の減収となった。</p>
<p style="text-align: center;">総合評価</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">A</p> </div> <div> <p>○自然環境を活かした多様な事業展開と、利用に向けた啓発に努めることで、施設の事業認知度は格段に向上している。</p> <p>○お互いにアイデアを出して事業の企画・立案をするなど、施設職員が一体となった運営と人材育成に取り組んでいる。</p> <p>○課題となっている閑散期の利用拡大に向けて、年間を通じてできる海での活動や、総合的な学習の時間で活用してもらうため学校ではできない学習プログラムの開発など、施設の特色を生かした魅力的な事業展開を期待する。</p> <p>○児童生徒数が減少し、利用者減が続いている状況にあるが、より積極的なPR活動の実施や、親子が参加できる新規プログラムの開発、学生ボランティアを活用した取組など、利用者数回復に向けた取組を進めることを期待する。</p> <p>○直営施設の担う役割を果たし、幡多地域独自の事業運営や職員の能力をより高める取り組みを期待する。</p> </div> </div>